

## 第6章 計画の推進



## 1 施策の効果検証及び計画の見直しの考え方

立地適正化計画に示す目標、施策は長期にわたるものであることから、都市計画運用指針においては、立地適正化計画は概ね5年ごとに評価を行うことが望ましいとされています。

本計画においては、目標年度である令和22年度を見据えた方針、施策を定めています。このため、計画の進行管理、評価にあたっては、PDCAサイクルの考えに基づいた評価により、計画の円滑な運用を図っていきます。

具体的には、概ね5年ごとに事業・施策の実施状況を確認するとともに、次項で設定する評価指標に基づき、計画の効果を検証していきます。また、施策の効果と合わせて、市街地内の都市機能や人口等の変化に応じ、計画の見直しを検討していきます。

〈PDCAサイクルのイメージ〉



## 2 評価指標

立地適正化計画の効果を検証するため、都市機能誘導、居住誘導、防災施策、公共交通施策に係る評価指標を定めます。評価指標は、長期的なまちづくりを推進する観点から、目標年度である令和 22 年度を見据えた長期目標値を定めます。また、立地適正化計画は概ね 5 年ごとに評価を行うことが望ましいとされていることから、令和 7 年度を見据えた短期目標値も定め達成状況を評価します。

### (1)都市機能誘導に係る評価指標

本計画の基本方針を踏まえ、都市機能誘導区域内の「主要な都市機能の数」を評価指標として設定します。

〈都市機能誘導に係る評価指標〉

評価指標	令和 2 年度 (現状)	令和 7 年度 (短期目標値)	令和 22 年度 (長期目標値)
主要な都市機能の数(病院、図書館等、全市または地域全体をサービス対象とする施設)	8 施設	8 施設	8 施設

### (2)居住誘導に係る評価指標

本計画の基本方針を踏まえ、居住誘導区域内の「人口密度」を評価指標として設定します。

〈居住誘導に係る評価指標〉

評価指標	平成 27 年度 (現状)	令和 7 年度 (短期目標値)	令和 22 年度 (長期目標値)
居住誘導区域内の人口密度	32.0 人/ha	32.0 人/ha	32.0 人/ha

### (3)防災に係る評価指標

本計画の基本方針を踏まえ、市民意向調査における「自然災害に関する施策の満足度」を防災に係る評価指標として設定します。

〈防災に係る評価指標〉

評価指標	令和元年度 (現状)	令和 7 年度 (短期目標値)	令和 22 年度 (長期目標値)
市民アンケートにおける自然災害に関する施策の満足及びやや満足との回答の割合	17%	20%	25%

注) 値は、赤湯、宮内、漆山、沖郷の平均値

### (4)公共交通に係る評価指標

本計画の基本方針を踏まえ、「市内循環バス及びおきタク等の年間利用者数」を公共交通に係る評価指標として設定します。

〈公共交通に係る評価指標〉

評価指標	令和元年度 (現状)	令和 7 年度 (短期目標値)	令和 22 年度 (長期目標値)
市内循環バス及びおきタク等の年間利用者数	23,818人 (市内循環バス 23,098人) (おきタク 720人)	24,000人 (市内循環バス 23,000人) (おきタク等 1,000人)	24,000人 (市内循環バス 23,000人) (おきタク等 1,000人)

注) 市内循環バスは令和元年4月～令和2年3月、おきタクは令和元年10月～令和2年3月値